【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】令和2年2月13日(2020.2.13)

【公表番号】特表2019-514577(P2019-514577A)
【公表日】令和1年6月6日(2019.6.6)
【年通号数】公開・登録公報2019-021
【出願番号】特願2018-557363(P2018-557363)
【国際特許分類】
Ａ６１Ｆ　2/18　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６１Ｆ　2/18

【手続補正書】
【提出日】令和1年12月26日(2019.12.26)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
インプラントを対象者の鼻弁領域内に送達するための送達システムであって、
ハンドルと、前記ハンドルの遠位端から延びる針とを有する送達ツールであって、前記インプラントが、前記針内に収容されるとともに、前記針内に部分的に配置されたプッシャ部材に近接または隣接して配置された、送達ツールと、
前記送達ツール内に配置された光源であって、前記プッシャ部材のルーメン内に保持された光ファイバに結合された光源と、
前記針内に配置されたインプラントと、
前記送達ツールのハンドル内に配置された可動式の針シャトルであって、前記針に連結された可動式の針シャトルと、
前記ハンドル内に配置され、前記可動式の針シャトルと取り外し可能に係合するように構成されたアクチュエータとを備え、
前記可動式の針シャトルが、前記針シャトルに近位方向の引張力を加えるように構成された１または複数のバネに連結されており、前記アクチュエータを作動させると、前記ハンドル内へと前記針が近位方向に引き込まれて、前記インプラントが放出されることを特徴とする送達システム。
【請求項２】
請求項１に記載の送達システムにおいて、
前記ハンドルに配置され、前記１または複数のバネに連結されたアーミングレバーをさらに備えることを特徴とする送達システム。
【請求項３】
請求項１に記載の送達システムにおいて、
前記針が、その長さ方向に沿って形成された複数の開口部を有することを特徴とする送達システム。
【請求項４】
請求項３に記載の送達システムにおいて、
前記光源が赤色光源を含み、前記光ファイバが、前記プッシャ部材の一端で終端となっていることを特徴とする送達システム。
【請求項５】

請求項１に記載の送達システムにおいて、
前記送達ツール内に配置された白色光源をさらに備えることを特徴とする送達システム。
【請求項６】
請求項１に記載の送達システムにおいて、
前記インプラントまたは前記針の一方が、前記インプラントまたは前記針の他方と摩擦係合するように構成された１または複数のタブを備えることを特徴とする送達システム。
【請求項７】
請求項６に記載の送達システムにおいて、
前記針が、前記インプラントと摩擦係合するように構成された複数のタブを備え、前記インプラントが、前記インプラント上に周方向に配置された複数のリブを有することを特徴とする送達システム。
【請求項８】
請求項１に記載の送達システムにおいて、
前記針が、前記針シャトルに取り外し可能に結合されていることを特徴とする送達システム。
【請求項９】
請求項８に記載の送達システムにおいて、
前記針が、針マウントを介して前記針シャトルに固定された近位側のハブを含むことを特徴とする送達システム。
【請求項１０】
請求項３に記載の送達システムにおいて、
前記複数の開口部が、前記針の一側に沿って方向付けられていることを特徴とする送達システム。